



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年4月11日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

高齢者への新型コロナワクチン接種開始

13日(火)＝1面など



65歳以上の高齢者に対し、新型コロナウイルスのワクチン接種が12日に始まります。2月中旬から医療従事者への接種が進んでいますが、一般住民向けは初めてです。緊急事態宣言は3月に全面解除されたばかりにもか

かわらず、感染状況が悪化している大阪、兵庫、宮城の1府2県に「まん延防止等重点措置」が適用され、東京、京都、沖縄も加わります。感染者が再び急増している中、政府や自治体が3600万人に上る高齢者や、そ

の後に一般の人への接種を円滑に進められるのか。医療従事者への接種では割合は少ないものの副反応が報告されており、懸念はないのか。「感染対策の切り札」とされるワクチン接種の期待と課題を多角的に伝えます。

届いたワクチンを専用冷凍庫に移す職員＝東京都世田谷区で4月8日撮影

特集 **ワイド**

コロナ下のラジオ人気 ニッポン放送社長の檜原麻希さんに聞く

13日(火)＝夕刊特集ワイド



新型コロナウイルス感染拡大により、在宅を強いられる人が増えたことで、意外ともいえる現象が起きています。ラジオを聴く人(リスナー)が増えているのです。なぜ今、ラジオが人気なのでしょう。か。「オールナイトニッポン」などの数々の人気番組を抱えるニッ

ポン放送社長の檜原麻希さん＝写真＝にその訳を聞きました。檜原さんは「ラジオの良さを再確認してもらえきっかけになった」と話しています。



コロナ下、慶応大生はなぜ山形に移住したか

17日(土)＝くらしナビ面



は昨年秋、大学の先生は、慶応大経済学部4年生の末永玲於(れいお)さん。写真の授

からライフの野菜も、山形に移住した。山形地方に大学が、濱市から山形村を逆手に取り、業のオンライン化

「関係人口」を増やす取り組みも聞きました。

論点 入管法改正案を巡って

14日(水)＝オピニオン面



入国管理局

政府の出入国管理法の改正案が近く国会で審議されます。国外退去処分を受けた外国人が入管施設に長期間收容される問題を解消する狙いです。しかし、人権団体は「改悪」と批判し、野党は共

同で参議院に対案となる法案を提出しています。国連人権理事会の作業部会なども人権上の懸念を指摘しています。どのように考えるべきか識者に聞きました。

新毎日



2022年2月21日 毎日新聞創刊150年

4月1日付で、「記事すごい！」の編集を担当するカスタマーリレーション部の企画・プロモーショングループに配属された。ネットやSNSの隆盛で「情報洪水」ともいえるべき今、メディアといえども、何を発信すれば社会に必ず伝わり、気づいてもらえるかは、限られていない。消費者が「見つけやすいようにする」と丁寧に力を注いでいきます！ (石原 聖)



※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。